

Dr. Tomo Tami

NO.159 BASTOS. 12 de ABRIL de 1953 O PROGRESSISTA REG. 2.695 SÃO PAULO A.P.

バストス週報

第五十九号 昭和廿八年 四月十二日 発行

登録名義人 森 幸一 発行所 RUA PRES VARGAS 188

編輯兼發行人 織田 春音

代 誌 一ヶ月 60 外部 70

今年はバストス入植五周年 記念祭 打つて一丸となつてやりませう

へちま深談

鳥の雌雄

19

元代議士だから日本の近情を語るに政... 治へ落ちてゆくのに不思議はないが池田... 厚相と吉田首相の失言問題を取り上げて... 攻撃して見たところ、ここはブラジルで... 政すからね、自分の地盤で選挙演説をや... 政権を奪って一度は掌中に収めた社会党は... 政権を奪って一度は掌中に収めた社会党は... 政権を奪って一度は掌中に収めた社会党は...

多賀安郎氏の講演要旨

身を以て國旗を守る

英大使館の國旗を降してくれと交渉を... すると彼が去くに英國旗を降ろすことは... 断じて出来ない、國旗は吾人英國人のた... さいである、ことに公使館は英國の主... 権の存すところだとして降ろすことを許... さんがない、撃つをいとって、威嚇する... とうか撃つて水といて、泰然たるもので... あった、さすがの日本兵も感入って打... つのさやめたのであります、國旗は民族... の家徽であります、身を以て之を守らん... とした英公使の態度は堂々たるものであ... りました

戦年暮観

私がかつて一九三八年ブラジルに参った... 時抗州湾上陸の話をしました、負傷兵を... 手当する時もう五分早ければ助かるとい... ふ場合も多いので患者輸送機を在伯同胞... の名で送って欲しいと訴へた事がありま... す(中略) アメリカは一名航海條約を一... 方的に破棄したのであるが條約破棄は一... 直前に通告することと必要とするのであ... ります、彼は明日から無効にすると言った... 鉄材、他重要物資と通商條約破棄により... 日本へは賣渡しを禁じてしまったのであ

ASAS PERNAMBUCANA FILIAES EM TODO O BRASIL. カラといひ 当店の品は イロといひ ブラジル第一級品 各もの フランネーラなど 沢山入荷いたしました、 どれもこれも 目のさめるような 品ばかり

る、日本としては軍用品がとく... くれが日本に入らなして蔣介石の方に... は日本へは賣渡しがアルセンチンには先... った、そこで八億用程の物資をアルセンチ... ンから賣ふことに在り、遂に在外資金皆無... といふ有様になりました、日軍は遠早く... 昭和十六年でありました、日軍は遠早く... 南方を占領して長期戦の態勢をとりホル... 南オーストラリア、ジャワ等を制圧して軍需品... の確保に努めたのであります、... 当時シンガポールには英國が世宗に考へ... 不沈の島と呼ばれるアリンズオスウエ... ルス号大万噸が居たが我方は操縦機を以... て監視していたところ、シンガポールを出... たといふ報があったので直ちにサイゴン... に待戦していた我軍艦隊は一時に之に襲... ひか、リ雷撃を(爆雷)を落して翌日に沈... 撃八九時、後不沈の大艦は遂に沈没したの... で此報をききやせ果中あつと驚いたとい... ふこととあります、日本の此の戦力に英... 米も一志たためらったといふ、... バクナでも賭けて居る時は中々やめられ... もので戦手でも同様であります、当時海... 軍は今が何時であるかと策を練る、互ひに意... とをひきあはし、息のつまる探偵時であつた

日本は当時一億の人口を抱え、しかも海外に伸びなければ人口過剰の爲めに滅ぶ。陸海とも愛國の熱度にかわりはないのであつた。生きのびる爲めのやむを得ない。日清日露の大戦も國際上の止むを得ざる戦争であつて決して侵略戦争ではない。當時の小日本は大清、大口、シヤと玉碎を期してやうやく勝つたものである。侵略といふのは欧米諸國が弱小の南洋や未開の諸國を赤子の手をねじる如く鎮土としたことを言ふのであります。一億の銃舌は一生懸命だつた。吾々日本人は子孫に立派な祖國をのこしたいとそれのみを目標とし海外の同胞も日本をうやまつてくれと祈つてくれた事でありませう。たとへば、勝つたねはなりぬ。故に最後の血を傾けつゝくして戦つたのであります。石炭は賤が、山入つていたから中々落付なかつた。食料は米、ウドン、芋、一日二人合、野菜は軍に出して強人となつた。豊富にあるのは空氣と水のみであつた。電報は軍場へとられ、民肉は制限を受けた。子供は一合三勺の配給であるが、こんなことは營養に關すると思つて色々苦心をこた。蒲と米と替へて子供にやる子供は砂糖の菓子知らないからイモを長人で食つた。

金物は橋の欄干であらうとギョジュでも袖も皆缺けてしまつた。今考へて見て、いふ生活は再び来ない様なきといふ辛棒をしたのだが、戦ひに勝ち度いといふた、その一心であつた。しかし刀折れ力つて遂に負け付けたのであります。

河南陸相は無儀の失敗を以て本エ上陸の水際にて敵軍をたたきつけると主張したが、民族は亡びてはいけません。天皇の御聖断によつて終戦の御詔勅となつたのであります。

河南陸相は席上割勝をした。二重橋前では六人が果敢に自刃をした。高知果守備の特隊員は終戦後敵艦に体当りをして、機体もろとも散るといふ悲劇を起つた。九州其海外の軍に休戦を命ずることも非常に困難が伴ひ、天皇も大變に苦心をなされたのであります。吾々日本人は全力をこめてつたが責任を果し得なかつた。此の点に幾直にも御詔承願ひ度い。日本の終戦には神風は吹かなかつたが、吾々ナポレオンやヒトラーの末期はとうていありまじか。日本はスエーデン國を通じて日本の天皇制を維持するなり是れ以上戦ふことをやめておつた。宣言を受諾するであらうといつた。之れは大條件であり、天皇は日今國民の尊厳を内外的の尊厳も亦厚い。この天皇制の維持は日本

に於いて、状況する力である。日本は決して無條件降服をしたのではない。又戦には百けたが民族精神に至つて一糸乱れたいない。吾々は敗戦といふ不終戦と呼び、兵隊といわす進駐軍と稱へて居るのであります。

みなさん
ゴッソングでしようか
バザール木村でお買ひ物をするとき
自動車のあたくりじが
ありますのよ

十針以上お買物のタロン六百針に
なりますと抽籤券一枚差上りです
抽籤日はサンジョンセナタールの
二回、好運の方には
◎一等 最新型高級車カネラック
◎二等 快速高級車ジャットム。号
◎三等 二人乗高級車 上ナット号
◎四等 冷蔵庫
◎五等 ラジオ時テレビカン
当りくち、ちニのニ番道
同じ買ふなら、自動車もうえる方がいいワ



幸運はどなたに?
バザール
キムラ

扱て今や日本は再軍備の問題がやかましく三派に分れて争つています。
自由党 改進黨は再軍備派で悪条件を克服して直ちに再軍備、北鮮にも出兵すべしといふのである。
日本社會党の言ひ分は、今までの日本軍隊は國と守る目的があつたから強かつたのだ。今や國と守る生活難である。國力の回復をまつて徐ろに軍備をなすべしといふにあります。
現今國民の月収は平均一万六千円、労働者は五千五百円乃至一万五千円である。生活費は一万円以上二万円か、毎月赤字生活者が多く前借々々をしてゆく、はじめの食料難の時代は葱玉葱を買ふにもたミラムをつけて煮つてもらつたので、農村へ金が流れ込んた、漁村へも同様、約六百億円が流れ込んたものであります。その頃千円札がないので百札のハンラン、インフレ果敢で一尺高さにたまるで一尺紙、二尺と二尺紙をやつたものであります。私は当時非常な瘡を

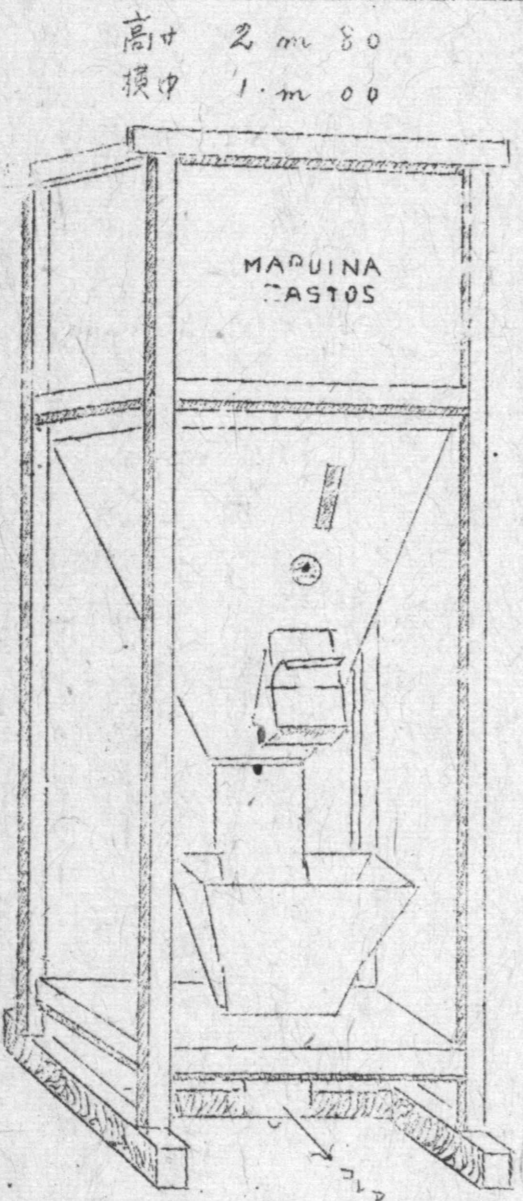
がある時牛肉をよそから世襲した、何年振りで牛肉
 にありついたことか、玉葱を入れて舌鼓を打って食べた
 ところ何とそれは大の肉であったといふ笑話へある、
 しかし漁場などは今百回札がハンマーしている実情であ
 った、その標を果敢も國民の救に比して食料が足りない
 から起った現象で、資本主義産業の復興により農
 業が統制を解かれると一方農産物は供出により、押
 へられたり及対面現金ほとんど、都會に吸収され
 農漁村は元々もくあみに返すし、いまも、現在
 食料品は一日スニ合セりて主食以外イモ芋等の
 統制は徹済されるに至りました

都會に於ても中小商者の金廻りは更々十数万円で
 仕入れた物を十数万円で賣り、そのまひ損をいする、銀
 行も借り、又借り替えて居る間に行き詰りを生ず
 る、税務署はさびしく取立て、押えられ人も多く之が
 原因で破産するもの数を知らないのであります
 此れではいけない、國家は首から上ばかりと援助
 して庶民復興の策を建てて居ない、首から下の生
 活が苦しいのだから、國家が援助しないでは皆死
 んでしまふではないか、自由党の池田厚相は笑に乱
 暴をこきこいた、(池田通産大臣のこゝろ) 中小業者
 で此の時代をのり切れぬ者は首をこきこつて死んだとこゝ上

新發賣

飼料混合機

こんな、便利な マキナが 突如出現!



一回の所要時間十 分間で三百五十キロ 攪拌

モートル一馬力半乃至二馬力にて充分 (2HP 或は四百五十キロ)

トラクトールの動力の時分別にエイショを取付

百聞は一見に如かず

毎日操作して御目にかけます

方がないといふのである、金持ちは勝手なことをする
 買ひ込めするまで小資本家は動きがとれない、政府
 が之を保護しない限り、中小業者は終つてゆく、彼等に
 最低の生活の保証をせよとせよのが政治ではないか
 以下 次号

フィリップスの思ひ出

去る三月廿五日宮坂國人民がバストスを訪問
 され一ラ帰朝談を聞いたが同道の富士銀行
 高尾調査役のフィリップン物語りも中之面白
 かつた

宮坂への紹介、ここに居られますのは富士銀行
 の海外調査役高尾氏であります、富士銀行と
 云いますのは日本十二大銀行中屈指の大銀行
 で資本金二十七億円、手金はその一六二倍位
 あると云事で、おが南米銀行の十倍餘であります
 社は十月月ばかりの滞り日であった為の経済方面
 のことはよく判りませんが、高尾さんより率直の話
 を伺ふことがたいと申します

高尾氏、ビルを築くので立ち上る、
 高尾で居るが、かたぐるしくなりす

これさへあれば

女、子供でも完全に飼料の配合攪拌が

完全にできます

バストス C.P 26

石橋農具研究所

から座つてお話し申します、宮坂さんに日本でお目にかゝり南米の予備知識を得ました、去る二月廿二日に聖市に着きました、奥地の方も見学させて頂く為め三月二十日聖市後アラツツバよりアマゾンチナを廻り尚私軍物でオケルスリセウへも立ち寄り本口（カカス）千俵バスに到着いたしました、一考りましても立派なフリー園がある、その内でも目立るといふ園は日本人所有であると聞かれます、その他花畑なども、すばれて成積のよいのは皆日本人経営と承り、実に日本人のエラサに感服をいたしました、日本人は作物を自分の子供のように可愛いが、佃人の手本となるような立派な農園を建て居られる、農業の方では確に一頭地を扱って居るといふ自負心を持つたのであります、

この日本人がすばれた民族である事を私は是非に心に於ても痛切に感じたことがありますので、その話を御参考にお話しすることと致しましたよう、
終戦当時のこと、私も一しに捕虜收容所に入れられ通訳の仕事に命ぜられた、一年位さういふ事をして居たのですが、ある時兵器廠、糧秣廠から日本兵俘虜五十人程よこせといつて来たので五十名ばかり連れて参りました、先方は水陸工作隊で立派な作業場に居る、欧州等の歴戦の勇士ばかりであったが、そこへクレーリに使用はれることになりました、

五十名の内半分は労働者だったが、あと半分は何か技術を身につけていた者、機械工とか自動車運転手とかでありました、そこはクロミンモーターを解体及修繕、トラクターの修繕、鉄板の溶接、溶解、鋳金、鑄物等をやるころであったが助手を要求したので適當の者を配置しました、向ふのサレントが始めは馬鹿にしたが余せぬるすくやつていふので驚いて居りました、溶接所のサレントは日本兵のナビにやれるかといふ、自分で一枚やつて見せました、ナビはイエスといつてマスクをかぶり取らんと、酸素焰の光を見ていたが、火の色を見ずまじまじとやつてのけた、焰の色を見別けるには手袋をはいたものでない、十分わかぬ相ですが、よろしいと感心していった、ところがそのナビはハンマーをもちてサレントのやつたのをカンと叩くと元のまゝにはなれてしまったが、ナビのやつたのは、いくつ叩いてもビクともしなかった、

旋盤工場に行った時は、使ったことのない機械が、図面を見ただけで立派に之を操作した、年齢さきくのか三十一才ですといふと首をひねつて感心してました、それが、専回家が居りました、今テストに合格し何れもよい手際をほめられました、

移轉御報らせ

藥店儀これまで、フェイス六（ベンス）街中村バールの隣りで、一、二、三、中、で御座いました、今回左記、移轉愈々本格的に皆様御用を勤めすれば何卒旧倍御引立あらんことを願ひます

三ツリヨ・アルファアの

製粉・特價提供

主任 鳴原 二郎

二一りヨ脱穀請負

主任 友谷 千丸

新学業所及マキナ

アベニクスパワリスタ（幼稚園、下隣り）

清水 商店

中に三名の大工が居りました、何れもタタキ大工であるが、やうて見ると実にうまうまやるのです、ある時電氣の自家発電の小屋を建てたいといふので図面を書かせたところ、正面図、側面図、出来上り図をかいてもらって来た、それを見て係りの大尉が驚いてしまった、材木は何ほどもある、レッドウッドがふふ赤味のあつた木ですが、中一呎長二呎位、角材は六呎もある、皆使つてよろしいとクレインで運ばせてくれました、
四日間、二重屋根、二間はセメントコンクリート、十キロワットの発電機、二台を据えるので、土台には電柱を打込んだすはらゝ家が出来上りました、あまり立派に出来たので、日本の捕虜が作ったものがある、記念に書いておけといふのです、何をやらせても、うまいので遂に信頼と愛着を感じ、大夏愛せられました、今皆使つていた、ナリピン人は月給ばかり取つて居てロクな仕事はせんといつて皆やめさせられてしまひました、
ある時ランチ（汽艇）の艇長が来て、ランチの両舷フロアの左舷エンジンの始動機がこわれたから直してこれといつて来た、行つて見るとセルスターターが焼けている、巻きかへるか取りかへなければならんが、しかし左舷用に対し右舷用を送つて来てくれるので

そのわけを話すと、すぐ検閲があるから、とりよせるひまは無い、何とかしてくれといふので、中味をばつして針金をすかへて入れなほしてやつて見ると、とうやううまく行ったので、艇長は非常によろこんで、何かで馳走をしてやうかと非常用食料雜誌やビールをごちそうしてくれました。

これらの事によつて私は日本兵の方があめりか兵以上に腦力があるといふことを確信いたしました。日本兵はアメリヤ人は馬鹿だよといつて居りました。但の教と掛け不足と引算といふ、番号ツツとヤルは一人に到るので、平均して馬鹿だ、馬鹿だといふと正に感じられるのであります。

アメリカ人は皆自動車が使へるといふ、それは車が多いからです。こわしてもかまわんといふ丈のことだ、真骨頂は判った。アメリカは恐るるに足りずと思つたのであります。日本は物量が不足して、物資の多い点では比較になりません、敗戦の原因は全く別にあるのであります。

進駐軍などを見ても実に疲るが、彼らのレベルより日本人の方が遙かに高いと思ひます。日本にはパンくといふといふのが居りますが、あれは下等な女ばかりです。中には特殊な者も居るかも知れぬが普通な女ではないのです。

帰りて日本の批判を耳にする時、日本人は自惚れが強いといふ言葉も心ずも、そうではありません、全体から見てアメリカ人より進んでゐると思ひます。戦後の誤つた民主主義なども今はたい分落ちつて来ましたし、地に落ちたといふ道義もかんくとり取りかへしつゝあるようであります。

近頃では電車、汽車内の忘れ物も居出るようになり、落し物も、イタタクする風はなくなつてゐます。かんくといふの日本の姿にかへつてゆく所で明るい気になつてゐるであります。

去る日、東京で宮城氏に内目にかたり、南米銀行の御招待でブラジルへ参りました。日本人の方が大いに力を發揮して居られる状態を拝見し致しまして、何とも云へぬ力強さを感じました。此の上とも日本人同志お互ひに協力をして、伯國の爲めに高揚する様子を願ひ申す。ブラジルの爲めにつくすこと、それ自身、日本の爲めになるからであります。ともすると日本人は島國根性を去つて、進か少し頭をもちよはるとすゝ之を叩くよふことがありますが、お互ひに力を合せて日本人社会を盛り上げる様にしたものであります。イタリヤ人、スペイン人、ア人達が、いかに此のブラジルに地盤を築き、礎を作つたか、彼らの協力に負けないように御

活動ありんことを祈ります。日本に於て民衆は毎日の生活を送るに、預金に懸命になりました。日本のインフレを制したのほ、実に銀行預金であったのであります。邦人の方も極力、金を銀行に預金するよう、御研究下さい。銀行は之を、よりよく世を益する事業をする他人（ガキ者）に使用せしむることによつて、大に社會に貢献することになるのです。富士銀行はブラジルに支店を設ける考へはありませんが、南銀と兄弟のよう、将来協力して参り度と思つて居ります。

皇太子殿下の船出を祝ひ奉りて
新津 牛丸

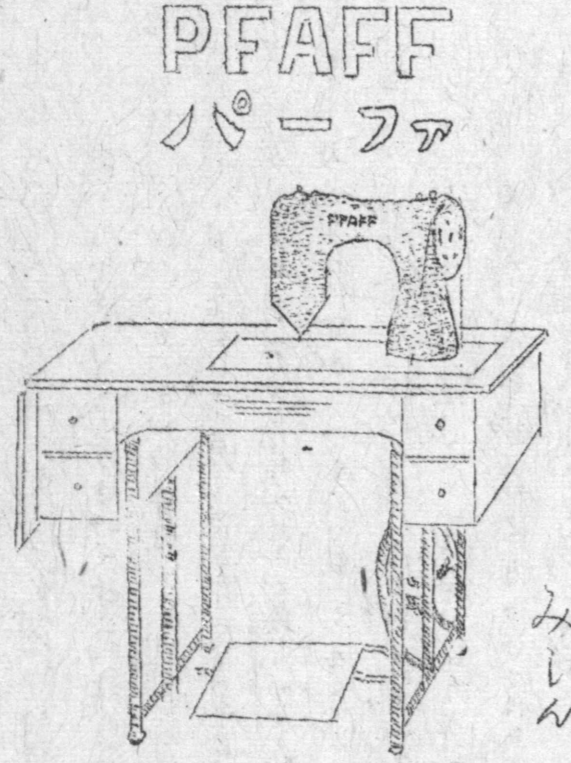
高見る日嗣の皇太子の御船出の
さす祈る哉 國つ蒼生

日の皇子の美國行きの初旅の
御船出おくる 萬歳の聲
廣く 世のよき見んと出でませる
船路の旅の幸いある哉

みしん 御愛めの節は、
よくマルカを御研究下さい
御來店下されば、詳しく
御説明申上げます

保険付きの、フネイフ

みしん



バーテみしん針、油 其他

附用品一式 取揃えてあります

みしん陳列場

カレンテラ カルカス街

前田呉服店みしん部

ガラシチード

貴下の御投資は数年ならずして
元金の十倍になります

投資の秘訣は
信用ある會社賣出しの

よい土地を御求めになる事
これなら絶対対まちがひありません

◎◎◎◎◎
目下大評判の

北パラナ

④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒

の市街地なら絶対間違ありません
(週報一五七号地図を参照)

賣功れぬ内一日も早く御申込み下さい

サンタクルス植民會社
日本人総代理人

時川萬馬

C.P.P.バストス ニ〇六
アベニチパワリスタ二一九

風光明眉なる

サントアマール湖畔

JARDOM
JASSEGUAVA

サントアウロ、リオホニート、サンジョゼ、カチカマテ
の次がジヤルジン、ジマセ、スアーバ、です

一口ッテに対し 最初一口ッテ入金
残金は毎月三百針宛分納 (無利息)

こんなやさしい方法で風景のよい湖畔
のムツクが入手出来ます

土地の値上りは近來恐ろしいばかり
所有しているだけで忽ち大儲け

幸運はすばやくつかむ可きです
詳細は代理人に御尋ね下さい

(ジヤルジン、ジマセがバ賣出會社)

イセゴリアリア エストレーラ ド ストル、リニターカ
代理人

時川萬馬
アベニチパワリスタ二一九

日記

未遊子

二月十三日

二三日前から催していた空模様が急にけわしくなって本格的な降りとなる。此の辺り百姓は大喜び、きのふ迄の湯治客は殆んど引上げでまい、噴井は雨にうたれてたゞもくもくと湧くばかり。雨がびちびち水面を叩く中で、外に暑くないから、悠々くつつかつている中は、よいが水中から出ると少々と寒く思はず身ふるひする。気温は恐らく二十度以下であらう、外へ出ると寒いから又水につかる、大きなサッポが二つも三つも、そばへ泳いで来て、ホクンと私の顔を見ている。此の野郎と手をとると、股をくぐって逃げる。面白いような、まみの悪いような、宛に南野趣横溢なフワではある。バストスを出る時、ハトヤさんが今きもって行きなさいと注意してくれたが、今きもって、ポチヤクヤれはマイス、理想的だわ。

昨日、パワリスタの奥から来た老神聖痛氏は此の雨予期、そのカレンコートと頭上からかぶり雨中をセツセと湯に通ぶのである。神聖痛で歩行も困難な様子をしてるかと思ふと、雨中を跣足でかけ出すのである。こんなに効力があらたかだと湯も亦樂しからずや、である。

気温がぐんぐん降り、雨はととみやみ相にもない。寝て本を読むのが仕事だが、これにも際限があり、食事やカソーのあと、同宿の客と五日並べどしたり、どうもそろそろ退宿になつて来た。退宿するのは「学」の無い証拠である。こんな時にこそ日頃の蘊蓄を傾けて、したま筆を駆使すべきであるが、あ、何と私は俗物である。ひそかに通敵の名簿を取り出して、發行部致さるうし増さんといか、ワ、なるといひ、ついでに誌代の請求をして見ようなどと考へるのであった。こゝろふ心がけだから病氣も直るんであらう。

二月十四日

今日も天気がわるい、何もすることがなくて宿のカーマにひっこりかへり、何氣なく手の甲から腕の表裏を撫でて見ると、めつきり小皺がふえ試みに手の甲をつまんで見ると老人らしく(尤も老人なんだ)たるんだ皮が富士山の様に四方に遠くかすみの裾を成くのである。二週向前述は老人に似合は、静脈など勿論、日月のありかもし判らぬ程、ん味を帯びてゐて、摘まんだところ、身と皮が別々になるよう、インキキなものでは無かった。あれから毎日四回も五回も野天風呂に入り、千回も大たい全身日光の直射を受け

るのり相当日焼けてゐるが、すかして見ると皮膚面に大皺小皺が波の如く、打よせ、ぶく光つてゐる。

それのみかあぶら氣が失せてキラ／＼した感じである、まさしく瘦せた感じである、食慾は極めて旺盛、便通正確、運動は毎日歩行四五キロ、頭は使はない、それでゐて此の結果は、といふことであらう。

「疲れ」といふ言葉がある、精神的には何れも苦痛は無いのだが、不眠症などと相俟つて肉体的にこんや工合に影響を受けてゐるものであらうか、キロンボの水に浸つてゐると痒でも感ずることだが何となくつる／＼する、しかし水氣を拭ひ去ると顔一面の患部など、かわき過ぎてピリ／＼引つはるような氣がする、水分に含まれてゐる鉱物質の作用であらうか、昔か凶か？

二月十五日

「親のドファン中におかしなものか出来まてね、こいつの治療の爲めキロンボへ行つて参ります」とさふとあの日訪ねてくれた△牧師は、容を改め「ではお祈りを致しませう」といつた、一要約すると

「此の兄弟が惱んで居ります病を一日も早く癒せしめ給へ、治療に赴く先々の旅に在りても牛蒡をたれ給はんことを」といふ意味だが、もつとまうく祈禱にふさわしい言葉でキリストに頼つて呉れた、まことにアリガたいことだつた。近所の人も知人も「やうり行つて来なさい、偉大事に」と言つてくれた、それは祈りの言葉ではないが、牧師の祈りの如く鹿風らしくないだけで、私を案じてくれる真意にかわりはないと思つた。だが祈られる人、即ち私自身の事だが、之れが俗物で唯物として居るから、どうも祈角の祈りも神様の方でソツポを向いていらつしやる祈りは、自分自身が己れを捨てて神によりすがつてゆくべきでは効顯はない、私の如く毎日、冥泉に浸りながら「何てナマヌルイさきめなんた」といふ少も感謝する心がないものだから、かういふも神様は、めとまわしにされる、はじめ一日七回入浴の日標を五回にへらし今では三回に下りまつた、こちうが故違すものだから、まじうからも故違される、是非もないことだ。

二三日前、身なりの卑しい若いシカコ夫婦が一人か、子供をかえ湯浴場にあらわれたが、女の子の顔は赤くたれ蛆がはつておそろな惨憺たる形相、痛かき泣きわめくのである、皆またながそよりつかない、彼等は入浴中へんにサンタマリアを叫び、罪深き、吾等を許し、恵を垂れ給へと子供と一しよに泣き乍ら祈り叫ぶのであつた。

番人がコツ／＼とノックすると祈りをやめて「ゴッ／＼別の脱衣場から一人の子供を抱えて宿へ帰つてゆく宿でも好過さるは居ないのであらう、さういふ彼りを私は湯の徑で今朝ゆき遠くに見た、子供は文も控かれぬわつてゐた、ちつとけい、いかね」と言葉をかけると女房は、ぼつと顔を上げた、ネムラではよくムラタでまだ三十歳そこ／＼のあどけ無い顔に晴々と笑をたゞえ

「サラマヤのお恵みです、今日は痛がりません、それは結構、ドーでも買つてやりなさい」とザク見舞金をやると、目さくる／＼と大きく動かして「ありがたう」といつてすなほに受取つた、恵まれたといふ感でなく、ごく自然に笑つた

見ると女の子の顔には膿のあとはなく乾きはじめた扉である、彼らにこそは効驗あつたかな冥泉であつた、さういふ病氣にさく冥泉であり、命を月盛りの種き生命の故もあろうが彼ら冥人夫婦の信仰も此の際見逃すわけにはいかないものの様である、では一つ心を入れかへて私も祈るか（いまかうでもおそくは無い）

○新綴り方教室。。

セマーナサンタ

渡辺 洋子

カルナバルもついで此の間のことのように思つたのに早やセマーナサンタも過ぎました、セマーナサンタは十字架が十字架にかけられて大へんくるしんでなくなつた日だそうです、晝間もたくさんの方が教會へあつまつて、お祈りして居ました。

夜になると何百人か、かきえ切れぬ大ぜいの人々が長い行列を作つて火をともして道を歩き下り、さんび歌を歌つたり、お祈りをしたりしました、行列の中には音楽だんもついでまわリ静かなかなしい曲をふきました、その時月上も下もなく男も女も皆んな悲し相に見えました、私もその人たちを見ると何となく神様をしんじる人の心にうたれました、何故十字架がくるしみを受け、なぐられたかといふと罪深い人々をすくうためださうです、そんなことを思ひ下り私は行列の去つてゆくのを見送つて居ました (終) 掲載分三三三謝

セマンテの御注文は

確實な品を格安にさし上げる
キタング 古澤商店へ